

【表紙】

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                             |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                 |
| 【提出先】      | 関東財務局長                             |
| 【提出日】      | 2013年8月14日                         |
| 【四半期会計期間】  | 第8期第1四半期（自 2013年4月1日 至 2013年6月30日） |
| 【会社名】      | ライフネット生命保険株式会社                     |
| 【英訳名】      | LIFENET INSURANCE COMPANY          |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長兼COO 岩瀬 大輔                  |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区麹町二丁目14番地2麹町NKビル            |
| 【電話番号】     | 03-5216-7900（代表）                   |
| 【事務連絡者氏名】  | 執行役員 堅田 航平                         |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区麹町二丁目14番地2麹町NKビル            |
| 【電話番号】     | 03-5216-7900（代表）                   |
| 【事務連絡者氏名】  | 執行役員 堅田 航平                         |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号）   |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次  | 第7期<br>第1四半期累計期間          | 第8期<br>第1四半期累計期間          | 第7期                       |
|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間  | 自2012年4月1日<br>至2012年6月30日 | 自2013年4月1日<br>至2013年6月30日 | 自2012年4月1日<br>至2013年3月31日 |
| 保険料等収入 (百万円)                                  | 1,300                     | 1,782                     | 5,915                     |
| 資産運用収益 (百万円)                                  | 9                         | 12                        | 51                        |
| 保険金等支払金 (百万円)                                 | 141                       | 359                       | 575                       |
| 経常利益(は経常損失) (百万円)                             | 69                        | 622                       | 23                        |
| 四半期(当期)純利益<br>(は四半期(当期)純損失) (百万円)             | 113                       | 624                       | 126                       |
| 持分法を適用した場合の投資利益 (百万円)                         | -                         | -                         | -                         |
| 資本金 (百万円)                                     | 10,481                    | 10,487                    | 10,484                    |
| 発行済株式総数 (株)                                   | 42,070,000                | 42,097,000                | 42,085,000                |
| 純資産額 (百万円)                                    | 16,056                    | 15,444                    | 16,071                    |
| 総資産額 (百万円)                                    | 19,099                    | 20,373                    | 20,450                    |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額<br>(は1株当たり四半期(当期)純損失金額) (円) | 2.71                      | 14.83                     | 3.00                      |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)                  | -                         | -                         | -                         |
| 自己資本比率 (%)                                    | 84.0                      | 75.7                      | 78.5                      |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)                        | 386                       | 322                       | 35                        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)                        | 197                       | 86                        | 33                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)                        | 0                         | 2                         | 5                         |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)                    | 238                       | 591                       | 353                       |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 保険料等収入、資産運用収益、保険金等支払金には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

4. 四半期財務諸表等規則第4条の2第2項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、2013年4月25日付けで、スイスの再保険会社であるSwiss Reinsurance Company Ltdと業務提携契約を締結しました。本提携に伴い、当社とSwiss Reinsurance Company Ltdは共同で検討委員会を設立し、インターネットによる生命保険事業における知見に加え、商品開発や引受査定などの分野におけるノウハウの共有や人材交流など、両社の業務拡大に資する提携策の協議を開始しました。

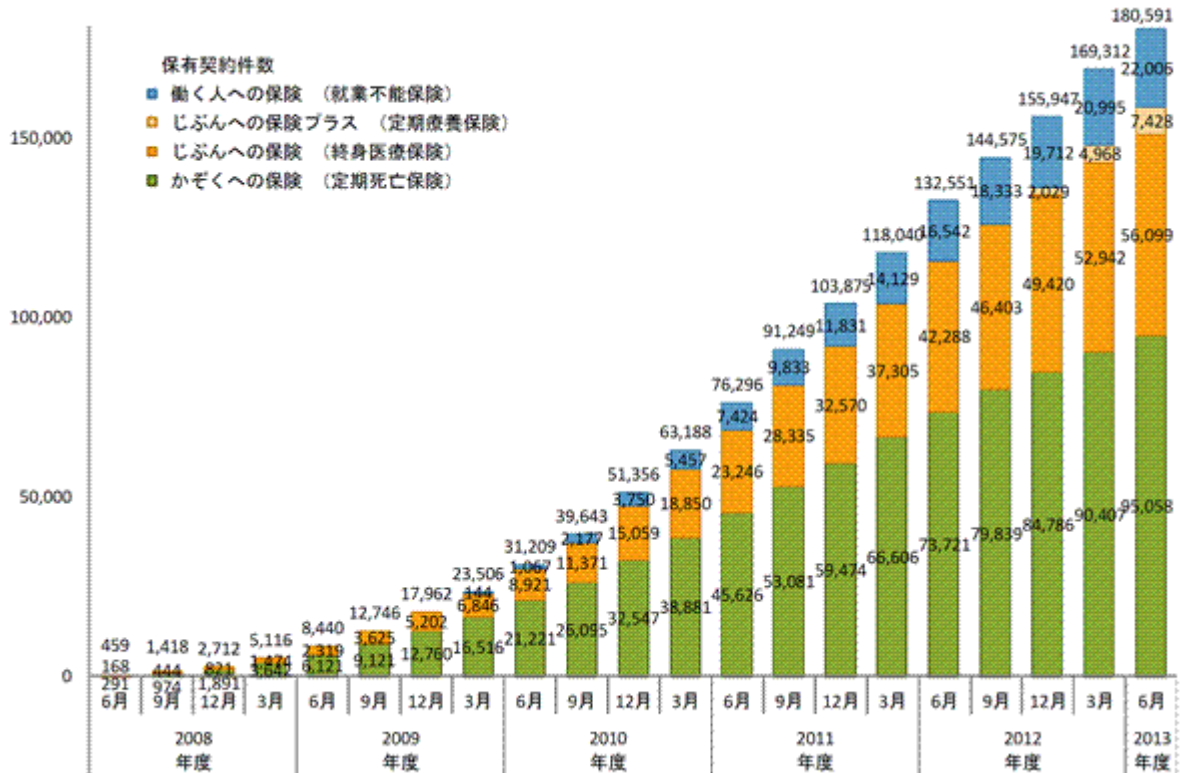
### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

##### 契約の状況

2013年度第1四半期累計期間の新契約件数は、前年同期比86.2%の14,279件となりました。2013年4月8日に保有契約件数17万件、6月24日に18万件を突破するとともに、当第1四半期会計期間末時点の保有契約件数は、前事業年度末比106.7%の180,591件、保有契約の年換算保険料は、前事業年度末比105.8%の7,271百万円となりました。また、当第1四半期累計期間の解約失効率は、6.8%（前年同期6.5%）となりました。

##### 保有契約件数の推移（件）



## 収支の状況

当第1四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約件数の増加に伴い、前年同期比137.0%の1,782百万円と大幅に増加しました。また、資産運用収益は、前年同期比133.6%の12百万円となりました。その他経常収益は、8百万円となりました。この結果、当第1四半期累計期間の経常収益は前年同期比134.8%の1,803百万円となりました。

当第1四半期累計期間の保険金等支払金は、定期死亡保険「かぞくへの保険」の保険金の支払いが増加したことなどにより、前年同期比254.9%の359百万円と大幅に増加しました。責任準備金等繰入額は、前年同期比156.1%の642百万円となりました。事業費は、広告宣伝費をコントロールしたことなどにより、前年同期比81.0%の1,060百万円と減少しました。事業費のうち、広告宣伝費を中心とした営業費用は522百万円、保険事務費用は145百万円、システムその他費用は392百万円となりました。これにより、新契約1件当たりの営業費用は、前年同期の46,863円から、36,573円となりました。また、保険業法第113条繰延資産償却費は、265百万円となりました。これは、2012年度までに計上した保険業法第113条繰延資産を開業10年目である2017年度まで均等償却することによるものです。なお、当社は、2012年度まで保険業法第113条に基づき、事業費の一部を繰延べておりましたが、開業から6年目となる2013年度以降は、保険業法第113条に規定する繰延資産を新たに計上することができません。これらにより、当第1四半期累計期間の経常費用は前年同期比172.3%の2,425百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経常損失は、前年同期の69百万円から拡大し、622百万円となりました。なお、保険業法第113条繰延資産償却費を考慮する前の経常損失は、前年同期の646百万円から縮小し、356百万円となりました。四半期純損失は、前年同期の113百万円から、624百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は566百万円のマイナス（前年同期5百万円）となりました。

## 保険金等の支払いの状況

当四半期に支払った保険金等は、911件、金額は343百万円となりました。内訳は、保険金14件、259百万円、給付金897件、84百万円です。

当社は、創業理念をまとめた「ライフネットの生命保険マニフェスト」

(URL：<http://www.lifenet-seimei.co.jp/profile/manifesto/>)において、保険金等の支払いを生命保険会社の最も重要な社会的責務であることを認識するとともに、保険金等の支払い漏れ防止に積極的に取り組み、保険金等の適切な支払いによってお客さまの信頼向上に努めております。また、必要書類が会社に到着してから、原則5営業日以内に、指定口座に保険金及び給付金を支払っております。事実の確認や請求書類の不備の補完に要した日数を除き、2013年度第1四半期において支払いに要した平均営業日数は3.39日となり、引き続き迅速な支払いを実現しております。

## お客さまの声の状況

当四半期にコンタクトセンターに寄せられた総相談件数は、17,062件、このうち苦情件数は290件となりました。

当社は、「お客さまの声」を、保険商品・サービスをお客さまにとってより魅力あるものにしていくための貴重な経営資源としてとらえ、全社的に収集・管理・分析の上、サービスの継続的改善とお客さま満足度の向上を図るため、日々の事業運営に反映しております。

## 資産運用の状況

当四半期においても、資本業務提携目的の株式を除く運用資産の全てについて、国債を中心とした高格付けの公社債などの円金利資産による運用を継続しました。なお、資本業務提携を目的として、当社の保険募集代理店である株式会社アドバンスクリエイトの株式を保有しております。このように、リスクを限定した方針に基づき資産運用を行っているため、現状では当社の運用収益に対するマクロの運用環境の変化による影響は、限定的であると認識する一方、日本銀行による金融緩和政策の影響等を考慮し、今後は外国債券への投資等による資産運用の多様化も検討します。

以上の運用方針の下、当第1四半期会計期間末の総資産は20,373百万円（前事業年度末20,450百万円）、このうち現金及び預貯金に有価証券を加えた運用資産残高は14,004百万円（前事業年度末13,841百万円）となりました。また、当第1四半期累計期間における運用資産全体に対する利回りは0.36%となるとともに、当第1四半期会計期間末の有価証券の修正デュレーションは、長期債への投資により、前事業年度末の約2.20年から約3.42年となりました。

## その他の成果

当四半期においては、2013年5月15日に、2015年度（2016年3月期）までの新中期計画を開示しました。新中期計画の骨子として、「新しい商品・サービスの提供を通じて生命保険の未来を創り出す「変革者」として、ステークホルダーの共感を集め、ネット生保 No.1の持続的成長を実現する」ことを目指すとともに、経営目標を「2015年度における経常収益150億円及び保険業法第113条繰延資産償却費を考慮する前の経常損益の黒字化の達成」と定めました。

また、4月25日に、スイスの再保険会社であるSwiss Reinsurance Company Ltdと業務提携契約を締結しました。インターネットによる生命保険事業に加え、商品開発や引受査定などの分野におけるノウハウの共有や人材交流など、両社の業務拡大に資する提携策を検討するために、共同で検討委員会を設立して協議を進めています。これに伴い、Swiss Reinsurance Company Ltdは、筆頭株主であったマネックスグループ株式会社の保有する全ての当社株式5,683,900株を一括で譲渡されたことから、当社の筆頭株主となりました。

さらに、4月25日にスマートフォンサイトを全面リニューアルするとともに、6月には新機能「iPad<sup>\*1</sup>向け電子版パンフレット」の導入など、iPad向けのサービスを強化しました。これにより、スマートフォンやiPadを用いて24時間いつでもより便利に、全商品の見積りや申し込みができるようになりました。

以上の施策に加え、4月には、「Gomez IRサイト総合ランキング 2013」において、新興市場ランキングの「情報開示の積極性・先進性」で第1位を獲得するとともに、6月には、「UCDAアワード2013」において、生命保険の支払手続案内ウェブページ部門「情報のわかりやすさ賞」を受賞しました。

なお、今後の持続的な成長を目指して、コーポレート・ガバナンス体制の強化を図るために経営体制を変更し、6月23日付けで、代表取締役会長兼CEOに出口治明が、代表取締役社長兼COOに岩瀬大輔が就任しました。

\*1 iPad はApple Inc.の商標です。

## (2)財政状態

### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、20,373百万円（前事業年度末 20,450百万円）となりました。主な勘定残高は、高格付けの公社債を中心とする有価証券13,412百万円、保険業法第113条繰延資産5,035百万円となりました。

負債の部は、保有契約件数の増加に伴い責任準備金が増加したことから、4,929百万円（前事業年度末4,379百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金3,921百万円（うち、危険準備金 1,052百万円）、支払備金257百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上に伴い、15,444百万円（前事業年度末 16,071百万円）と減少しました。

当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、2,091.9%（前事業年度末2,266.0%）となり、十分な支払い余力を維持しております。

### キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、保険金等の支払いが増加したものの、保険料等収入が増加したことから、322百万円の収入（前年同期386百万円の支出）となり、2012年度第3四半期以降、引き続き四半期ベースで営業キャッシュ・フローは黒字を計上しました。投資活動によるキャッシュ・フローは、86百万円の支出（前年同期197百万円の収入）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、2百万円の収入（前年同期0百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は、591百万円（前事業年度末353百万円）となりました。

(3)基礎利益

生命保険料の計算は、予定発生率（死亡率、入院率など）、予定利率、予定事業費率（付加保険料部分）の3つに基づいております。これらの「予定」と実績との差によって生命保険会社の利益（基礎利益）が生じていると考え、それぞれの差分を算出することによって、基礎利益がどのような要因から生じているのかを明らかにするのが利源分析の考え方です。

- ・危険差益（差損）：想定した保険金・給付金の支払額（予定発生率）と実際に発生した支払額との差
- ・費差益（差損）：想定した事業費（予定事業費率）と実際の事業費支出との差
- ・利差益（差損）もしくは順ざや（逆ざや）：想定した運用収益（予定利率）と実際の運用収益との差

\*1 当社の利源分析は、保険数理上合理的な方法を採用しておりますが、具体的な計算方法は他の生命保険会社と異なることがあります。当社では保険料の内訳計算等について5年チルメル式を採用し、解約・失効による利益（解約失効益）は、費差損益に含めます。

当第1四半期累計期間の基礎利益及び三利源の状況は以下のとおりです。

当事業年度より保険業法第113条に基づく事業費の繰延べができないことから、費差損は799百万円に拡大しました。一方、保険金及び給付金の支払いは増加したものの、危険差益は229百万円となりました。また、資産運用収益により利差益を2百万円計上しました。これらにより、基礎利益は566百万円のマイナスとなりました。

基礎利益の内訳（三利源）

（単位：百万円）

| 基礎利益            | 前第1四半期累計期間 | 当第1四半期累計期間 | 前年同期比  |
|-----------------|------------|------------|--------|
| 基礎利益            | 5          | 566        | -      |
| 危険差益            | 215        | 229        | 106.5% |
| 費差損（ ）          | 215        | 799        | -      |
| 利差益（順ざや額）       | 4          | 2          | 60.9%  |
| キャピタル損益         | -          | -          | -      |
| 臨時損益            | 74         | 55         | -      |
| 経常損失（ ）（= + + ） | 69         | 622        | -      |
| 特別損益・法人税等       | 43         | 2          | -      |
| 四半期純損失（ ）（= + ） | 113        | 624        | -      |

## (4) ソルベンシー・マージン比率

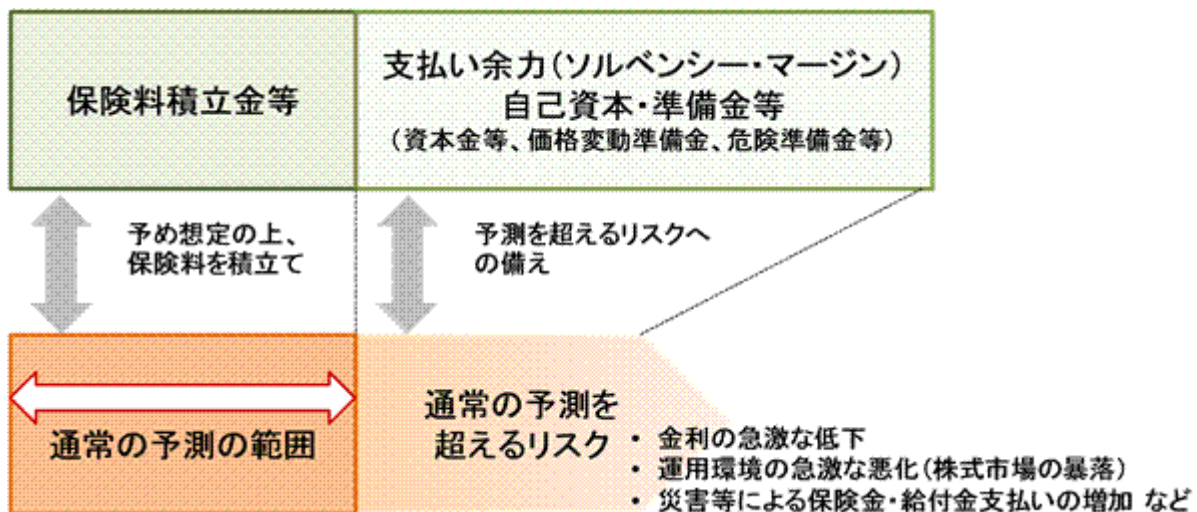
当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、前事業年度末に比べ減少し、2,091.9%となりました。これは、保有契約件数の増加に伴い、リスクの合計額が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

|             | ソルベンシー・マージン<br>総額 | ÷ | リスクの合計額<br>× (1/2) | = | ソルベンシー・マージン<br>比率 |
|-------------|-------------------|---|--------------------|---|-------------------|
| 当第1四半期会計期間末 | 11,482            |   | 1,097 × (1/2)      |   | 2,091.9%          |
| 前事業年度末      | 11,790            |   | 1,040 × (1/2)      |   | 2,266.0%          |
| 前第1四半期会計期間末 | 12,640            |   | 849 × (1/2)        |   | 2,976.2%          |

## ソルベンシー・マージン（支払い余力）の考え方

ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株式市場の暴落など、通常の予測の範囲を超えて発生するリスクに対応できる「支払い余力」を有しているかどうかを判断するための経営指標・行政監督上の指標の一つです。具体的には、純資産などの内部留保と有価証券含み益などの合計（ソルベンシー・マージンの総額=支払い余力）を、定量化した諸リスクの合計額で除して求めます。なお、ソルベンシー・マージン比率が200%以上であれば、行政監督上、健全性に係るひとつの基準を満たしているとされます。



## (5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (6) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 100,000,000 |
| 計    | 100,000,000 |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第1四半期会計期間末<br>現在発行数(株)<br>(2013年6月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(2013年8月14日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容   |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 42,097,000                             | 42,097,000                  | 東京証券取引所<br>(マザーズ)                  | 1単元の株式数は100株であります。完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 |
| 計    | 42,097,000                             | 42,097,000                  | -                                  | -  |

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2013年4月1日～<br>2013年6月30日 | 12,000                | 42,097,000           | 2               | 10,487         | 2                     | 10,487               |

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6)【大株主の状況】

2013年4月25日付けで、当社の筆頭株主であるマネックスグループ株式会社及びSwiss Reinsurance Company Ltdは、マネックスグループ株式会社の保有する全ての当社株式5,683,900株をSwiss Reinsurance Company Ltdに一括譲渡することを合意したことから、Swiss Reinsurance Company Ltdは、5,683,900株の当社株式を保有する当社の筆頭株主となりました。なお、2013年5月2日付けで、両社から当該内容に係る大量保有報告書及び変更報告書の提出を受けているものであります。



(7)【議決権の状況】

当第四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」は、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2013年3月31日）の株主名簿に基づいて記載しております。

【発行済株式】

2013年6月30日現在

| 区分             | 株式数（株）          | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式（自己株式等） | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式（その他）   | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式（自己株式等） | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式（その他）   | 普通株式 42,079,500 | 420,795  | -  |
| 単元未満株式         | 5,500           | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 42,085,000      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -               | 420,795  | -  |

【自己株式等】

2013年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|--------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| -          | -      | -            | -            | -           | -                      |
| 計          | -      | -            | -            | -           | -                      |

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、当該有価証券報告書に記載した事項を除き、該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）並びに同規則第54条及び第73条の規定に基づき「保険業法施行規則」（平成8年大蔵省令第5号）に準拠して作成しております。

また、四半期財務諸表等規則第4条の2第2項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（2013年4月1日から2013年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

|                         | 前事業年度<br>(2013年3月31日) | 当第1四半期会計期間<br>(2013年6月30日) |
|-------------------------|-----------------------|----------------------------|
| <b>資産の部</b>             |                       |                            |
| 現金及び預貯金                 | 353                   | 591                        |
| 有価証券                    | 13,488                | 13,412                     |
| 国債                      | 7,331                 | 7,161                      |
| 社債                      | 5,982                 | 6,075                      |
| 株式                      | 174                   | 176                        |
| 有形固定資産                  | 97                    | 92                         |
| 無形固定資産                  | 590                   | 583                        |
| 代理店貸                    | 0                     | 0                          |
| 再保険貸                    | 13                    | 22                         |
| その他資産                   | 5,907                 | 5,671                      |
| 未収金                     | 498                   | 529                        |
| 保険業法第113条繰延資産           | 5,300                 | 5,035                      |
| その他の資産                  | 108                   | 107                        |
| 資産の部合計                  | 20,450                | 20,373                     |
| <b>負債の部</b>             |                       |                            |
| 保険契約準備金                 | 3,544                 | 4,179                      |
| 支払準備金                   | 265                   | 257                        |
| 責任準備金                   | 3,278                 | 3,921                      |
| 代理店借                    | 3                     | 3                          |
| 再保険借                    | 15                    | 16                         |
| その他負債                   | 493                   | 419                        |
| 特別法上の準備金                | 3                     | 4                          |
| 価格変動準備金                 | 3                     | 4                          |
| 繰延税金負債                  | 318                   | 305                        |
| 負債の部合計                  | 4,379                 | 4,929                      |
| <b>純資産の部</b>            |                       |                            |
| 資本金                     | 10,484                | 10,487                     |
| 資本剰余金                   | 10,484                | 10,487                     |
| 利益剰余金                   | 4,978                 | 5,602                      |
| 株主資本合計                  | 15,990                | 15,371                     |
| <del>その他有価証券評価差額金</del> | 60                    | 53                         |
| 評価・換算差額等合計              | 60                    | 53                         |
| 新株予約権                   | 20                    | 20                         |
| 純資産の部合計                 | 16,071                | 15,444                     |
| 負債及び純資産の部合計             | 20,450                | 20,373                     |

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

|              | 前第1四半期累計期間<br>(自 2012年4月1日<br>至 2012年6月30日) | 当第1四半期累計期間<br>(自 2013年4月1日<br>至 2013年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 経常収益         | 1,337                                       | 1,803                                       |
| 保険料等収入       | 1,300                                       | 1,782                                       |
| 保険料          | 1,276                                       | 1,759                                       |
| 再保険収入        | 24  | 22  |
| 資産運用収益       | 9   | 12  |
| 利息及び配当金等収入   | 9   | 12  |
| その他経常収益      | 28  | 8   |
| 支払備金戻入額      | 27  | 7   |
| その他の経常収益     | 1   | 0   |
| 経常費用         | 1,407                                       | 2,425                                       |
| 保険金等支払金      | 141   | 359   |
| 保険金          | 81  | 259   |
| 給付金          | 48  | 84  |
| 再保険料         | 11  | 16  |
| 責任準備金等繰入額    | 411   | 642   |
| 責任準備金繰入額     | 411   | 642   |
| 資産運用費用       | 0   | 0   |
| 支払利息         | 0   | 0   |
| 事業費          | 1,309                                       | 1,060                                       |
| その他経常費用      | 305   | 361   |
| 保険業法第113条繰延額 | 760   | -   |
| 経常損失( )      | 69  | 622   |
| 特別損失         | 0   | 11  |
| 減損損失         | -   | 10  |
| 特別法上の準備金繰入額  | 0   | 0   |
| 価格変動準備金繰入額   | 0   | 0   |
| 税引前四半期純損失( ) | 69  | 633   |
| 法人税及び住民税     | 0   | 0   |
| 法人税等調整額      | 43  | 10  |
| 法人税等合計       | 43  | 9   |
| 四半期純損失( )    | 113   | 624   |

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                                      | 前第1四半期累計期間<br>(自 2012年4月1日<br>至 2012年6月30日) | 当第1四半期累計期間<br>(自 2013年4月1日<br>至 2013年6月30日) |
|--------------------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>              |   |   |
| 税引前四半期純損失( )                         | 69  | 633   |
| 減価償却費                                | 54  | 45  |
| 減損損失                                 | -   | 10  |
| 支払備金の増減額( は減少)                       | 27  | 7   |
| 責任準備金の増減額( は減少)                      | 411   | 642   |
| 価格変動準備金の増減額( は減少)                    | 0   | 0   |
| 利息及び配当金等収入                           | 9   | 12  |
| 支払利息                                 | 0   | 0   |
| 代理店貸の増減額( は増加)                       | 0   | 0   |
| 再保険貸の増減額( は増加)                       | 23  | 9   |
| その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連)<br>の増減額( は増加) | 663   | 234   |
| 代理店借の増減額( は減少)                       | 0   | 0   |
| 再保険借の増減額( は減少)                       | 0   | 1   |
| その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連)<br>の増減額( は減少) | 78  | 22  |
| その他                                  | 19  | -   |
| 小計                                   | 422   | 295   |
| 利息及び配当金等の受取額                         | 40  | 31  |
| 利息の支払額                               | 0   | 0   |
| 法人税等の支払額                             | 3   | 3   |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>              | <b>386</b>                                  | <b>322</b>                                  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>              |   |   |
| 有価証券の取得による支出                         | 8,824                                       | 5,051                                       |
| 有価証券の売却・償還による収入                      | 9,100                                       | 5,100                                       |
| 資産運用活動計                              | 275   | 48  |
| 営業活動及び資産運用活動計                        | 111   | 371   |
| 有形固定資産の取得による支出                       | 11  | 15  |
| 無形固定資産の取得による支出                       | 66  | 119   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>              | <b>197</b>                                  | <b>86</b>                                   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>              |   |   |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入                | 6   | 4   |
| リース債務の返済による支出                        | 7   | 2   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>              | <b>0</b>                                    | <b>2</b>                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額( は減少)                  | 190   | 238   |
| 現金及び現金同等物の期首残高                       | 428   | 353   |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高                     | 238   | 591   |

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

事業費の内訳は次のとおりであります。

|              | 前第1四半期累計期間<br>(自2012年4月1日<br>至2012年6月30日) | 当第1四半期累計期間<br>(自2013年4月1日<br>至2013年6月30日) |
|--------------|---|---|
| <b>営業活動費</b> |   |   |
| 募集代理店経費      | 8   | 10  |
| 選択経費         | 1   | 1   |
| 営業活動費小計      | 9   | 11  |
| <b>営業管理費</b> |   |   |
| 広告宣伝費        | 722                                       | 462                                       |
| 営業管理費小計      | 722                                       | 462                                       |
| <b>一般管理費</b> |   |   |
| 人件費          | 242                                       | 254                                       |
| 物件費          | 334                                       | 331                                       |
| 負担金          | 1   | 1   |
| 一般管理費小計      | 578                                       | 586                                       |
| 合計           | 1,309                                     | 1,060                                     |

- (注) 1. 一般管理費・物件費の主なものは、保険事務・システム等の契約の維持・管理に際して必要な経費等であります。
2. 負担金は、保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する負担金であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高は、四半期貸借対照表に掲記されている現金及び預貯金と同額であります。

(金融商品関係)

前事業年度末(2013年3月31日)

|           | 貸借対照表計上額<br>(百万円) | 時価(百万円) | 差額(百万円) |
|-----------|-------------------|---------|---------|
| 預貯金       | 353               | 353     | -       |
| 有価証券      | 13,488            | 13,509  | 20      |
| 満期保有目的の債券 | 8,007             | 8,028   | 20      |
| その他有価証券   | 5,480             | 5,480   | -       |
| その他資産 未収金 | 498               | 498     | -       |

当第1四半期会計期間末（2013年6月30日）

|           | 四半期貸借対照表計上額<br>（百万円） | 時価（百万円） | 差額（百万円） |
|-----------|----------------------|---------|---------|
| 預貯金       | 591                  | 591     | -       |
| 有価証券      | 13,412               | 13,350  | 62      |
| 満期保有目的の債券 | 7,744                | 7,682   | 62      |
| その他有価証券   | 5,667                | 5,667   | -       |
| その他資産 未収金 | 529                  | 529     | -       |

(1) 預貯金

当社は、満期がない預金のみを保有しており、それらの時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

有価証券の時価は、2013年6月末日（前事業年度末は2013年3月末日）の取引所又は取引金融機関から入手した価格によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「（有価証券関係）」をご参照下さい。

(3) 未収金

未収金については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

（有価証券関係）

1. 満期保有目的の債券

前事業年度末（2013年3月31日）

|    | 貸借対照表計上額<br>（百万円） | 時価（百万円） | 差額（百万円） |
|----|-------------------|---------|---------|
| 国債 | 5,462             | 5,472   | 10      |
| 社債 | 2,545             | 2,555   | 10      |
| 合計 | 8,007             | 8,028   | 20      |

当第1四半期会計期間末（2013年6月30日）

|    | 四半期貸借対照表計上額<br>（百万円） | 時価（百万円） | 差額（百万円） |
|----|----------------------|---------|---------|
| 国債 | 5,803                | 5,738   | 65      |
| 社債 | 1,941                | 1,944   | 3       |
| 合計 | 7,744                | 7,682   | 62      |

2. その他有価証券

前事業年度末（2013年3月31日）

|    | 取得原価（百万円） | 貸借対照表計上額<br>（百万円） | 差額（百万円） |
|----|-----------|-------------------|---------|
| 債券 |           |                   |         |
| 国債 | 1,860     | 1,868             | 8       |
| 社債 | 3,432     | 3,437             | 4       |
| 株式 | 100       | 174               | 73      |
| 合計 | 5,393     | 5,480             | 86      |

当第1四半期会計期間末（2013年6月30日）

|    | 取得原価（百万円） | 四半期貸借対照表計上額<br>（百万円） | 差額（百万円） |
|----|-----------|----------------------|---------|
| 債券 |           |                      |         |
| 国債 | 1,355     | 1,357                | 2       |
| 社債 | 4,134     | 4,133                | 1       |
| 株式 | 100       | 176                  | 75      |
| 合計 | 5,590     | 5,667                | 76      |

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、生命保険事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 前第1四半期累計期間<br>（自2012年4月1日<br>至2012年6月30日） | 当第1四半期累計期間<br>（自2013年4月1日<br>至2013年6月30日） |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額   | 2.71円                                     | 14.83円                                    |
| （算定上の基礎）  |   |   |
| 四半期純損失金額（百万円）   | 113                                       | 624                                       |
| 普通株主に帰属しない金額（百万円）   | -   | -   |
| 普通株式に係る四半期純損失金額（百万円）  | 113                                       | 624                                       |
| 期中平均株式数（株）  | 42,060,462                                | 42,089,220                                |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | -   | -   |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載していません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

ライフネット生命保険株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 貞廣 篤典

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森本 洋平

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているライフネット生命保険株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第8期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ライフネット生命保険株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。